

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、16～22.5℃台を示し、やや低い～平年並みの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網——西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり11トンの水揚げで、前週の約6倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり6トンの水揚げで、前週の30%（前年を上回った）。北松南部地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり13トンの水揚げで、前週の72%（前年を上回った）。橘湾地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり10トンの水揚げ（前年を上回った）。
- イカ釣——スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり6kgの水揚げで、前週の46%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では1日当たり362kgの水揚げで、前週の2.8倍（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり47kgの水揚げで、前週の1.6倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では1日当たり265kgの水揚げで、前週の2.9倍（前年を下回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり8kgの水揚げで、前週の62%（前年を下回った）。
- 定置網——五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり365kgの水揚げ。北松生月地区では、カワハギなどが1日1統当たり583kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり201kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、イサキが1日当たり455kgの水揚げで、前週の約7倍（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（5/10～5/14）5日間の沖合イカ釣りは、船凍船は切揚。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～若狭沖にかけて出漁した。

境港基地の小型イカ釣船 3日延5隻、総計371箱、1航海最高126箱、平均74.2箱、スルメ（30・40入）371箱。

（漁業情報サービスセンターより）